**10月31日　株式会社　TNPパートナーズ　代表取締役　社長　呉　雅俊　氏**

**問１　学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

機械工学系出身の方が一般企業に就職した後に、ベンチャーキャピタルに関わることもあるのだなと、ベンチャーキャピタルの幅広さや、経営と企業就職というのは切っても切れないものだと改めて感じた。また、ベンチャーキャピタルは情報量と失敗経験が豊富であることが多いので、それを生かしたビジネスを展開することが重要だと感じた。急成長したベンチャービジネスに共通している特徴の傾向としては、客の立場からサービスを見て、一所懸命にサービスを向上させていて、かつ他の同業者との差別化をはかっている企業だと思った。固定観念に縛られない自由な発想を持ったパイオニアとなる企業がベンチャーとして大きく成功しているのだと思った。（理工学部　数物電子情報系学科　2年）

ベンチャーキャピタルに元から興味があったので大変貴重な話が聞けたと思う。マーケットとベンチャー企業を結ぶファンドの重要性やそれにまつわる経験の話は特にためになった。ＶＣによる資金調達によってベンチャーや新事業を展開していく人々の仕事の進め方や哲学、自分も参考にして将来の選択肢として考えていこうと思った。ビジネスモデルの違いによって企業の成長率や儲けが大きく違ってきた話や、経営スタイルの変化の話は呉さんの経験に基づいており、楽しく聞けた上にやはり考えさせられるものがあった。ベンチャー企業としての根本的な在り方を学べた一時間であった。（経営学部1年）

今までのこの授業から、ベンチャー企業は簡単に成功するわけではないという認識があったが、今日の講義で10回挑戦して3回成功すれば良いほうであることやたくさんの失敗例を活かして挑戦を続けることを知り、熱意や打たれ強さが必要なのだと分かって理解が深まった。また、ベンチャー企業に投資する側は10年を基準に成功かを判断すると知り、ベンチャー企業を育てる側も想像以上の忍耐強さが必要なのだと分かった。非常に遠い存在だと感じていたベンチャーの世界であったが、周りのどんなことにもアンテナを張って関係性を見出したり成功するまで耐え抜いたりするなど、人間として重要な要素を含んでいるのだということが分かった。（教育学部　学校教育学科1年）

「アントレプレナー」とそうではない人の意識の違いがとても大きいと感じた。「成功するまで続ける」という熱意や、気合と根性などの思いの強さがあると思った。また、「一歩踏み出すこと」＝「challenge」がアントレプレナーには必要だと思った。私自身地方出身であるが、都会ほどイノベーションやVCの取り組みが地方では多くない。規模の小ささや意識の違いがあるとは思う。将来私は地方で事業を起こしたいと考えているからこそ意志を大切にしていきたい。（経営学部、経営学科、1年）

大学の同級生、渡邉美樹さんが「新規事業を新しく始める仲間を探すために自分は大学に来た」と言った話はすごく印象に残りました。私は強い目的意識をもっていなかったので、それほど強い意志を持ってきている人もいるのだなという尊敬と、それくらいの意思を持った人でなければ成功しないのだなと思いました。「10回に1回は絶対に成功する」という言葉や、ぐるなびの1軒1軒訪ねていったという話などから失敗や徒労に終わることを恐れずに朝鮮することはとても大切だと思いました。(経営学部　1年)

「人は成功例は書くけれど、失敗例は書かない」という言葉がとても印象的でした。たしかに、書籍などで、成功した本はよく見るけれど失敗したことに基づく本はあまり見ないと思いました。それは、人が失敗したことをあまり振り返りたくないという生物だからだということもとても感心しました。また、10回やれば1回成功するという言葉を信じて様々なことに挑戦していきたいです。(経営学部　1年)

私は自分に経営者としてのセンスがあるとは感じません。それは主観的な判断によるものです。今回経営者、つまり改革を起こす者としての素質を学ぶことができました。私自身イノベーターになりたいとは思いませんが、人間としてもっていて素晴らしい能力と思います。日常をただ単に過ごすだけでなく、様々なことを考えながら、アイデアを生み出すことのできる人間になりたいと思います。それを自分の将来に活かすことができたら充実した授業を受けた成果を得たと言えるため、そう自負できるように努力します。（教育学部　学校教育学科　1年）

講演される方々がたまに言われることですが、倒産しても失敗ではないのだという話が印象に残りました。今回はシリコンバレーの話で出てきましたが、約60％の企業が倒産をしていて、だからこそ成功企業が評価される。倒産はただ失敗ではなく、その失敗がスキルとして認められ、失敗した人がまたチャレンジしていくといった循環が、生まれているというシリコンバレーの文化は素晴らしいと思いました。日本では「倒産＝失敗」として、まだまだいいイメージではないですが、少しずつシリコンバレーでのような考え方に近づいていければ、日本の経済はもっと発展していけると思いました。（経営学部　1年）

本日は貴重な講演をしていただきありがとうございました。日本の起業の失敗に対する世間の評価を変えていくことが必要なのだと感じました。私は現在、学内・学外で２つのビジネスプランコンテストに携わっているのですが、呉さんの「ビジネスプランが良いからといって成功するというわけではない。やってみてうまくいかなかったときに、今後成長するためにどうするか、どう失敗を活かすかが一番重要」という言葉が深く心に響きました。ビジネスコンテストを運営する立場として、参加者にそういった機会を与えることが私たちの使命なのではないかと感じました。 (経営学部 経営学科 1年)

今回のお話の中で一番印象に残ったのはオプトの社長が３つのビジネスのうち２つを売却して、その二つが別の人の手に渡って成功したという話です。３つのビジネスがそれぞれ成功した理由がビジネスモデルの違いだとおっしゃっていましたが、起業家として多くの経験をしてきた人でも自分のやりたいことによってビジネスモデルが変わってくるんだなと思いました。多様的に考えるだとか今まで絶対良いことだと思っていたけれど、ある程度考えは頑固であることも必要であると思った。行動は柔軟であるべきだが、主観的であるとも大事だと学んだ。(経済学部　経済学科　1年)

**問２　今後のアクションに繋げていきたいこと**

技術開発でもベンチャーキャピタルでも重要なのは一見、無関係に見える物事を結びつけて、独創的なアイデアを生み出すイノベーターになることだと再認識した。簡単なことではないが、自分のこだわりや価値観というのを周りに流されず確立することで、人と違う物事の見方が出来るようになるのかと思った。効率主義の社会だが自分のこだわりを捨てずに突き通したい。(理工学部　電子情報系　２年)

例えば俺のイタリアンなら立ち食いイタリアンという飲食店の常識を覆す発想で成功したけれど、おそらく飲食関係者以外じゃないと思いつかないと聞いて、専門外の方が思いつくこともあるから、視野を広げて、自分のあまり興味がない分野にも目を向けてみようと思いました。そして、失敗しても何度も何度も挑戦し、諦めない心を持とうと思いました。(経済学部　経済学科　1年)

日本にとどまるのであれば、日本人の特徴を十分に理解することが重要だと感じたので、様々な人と関わりながら自分なりに日本人ならではの特徴を見つけて行きたいと思いました。(経済学部　１年)

今回は、ワタミやスタバ、ブックオフなどの成功例を聴きながら、新事業の切り口としてchange, focus, combineがあるということを学び、人々が無理だと思うようなことをしたり一見無関係に思える物事を結び付けられるようにするためには日頃からさまざまな分野にアンテナを張っておくことが必要だと感じた。それは起業家だけでなく誰にとっても必要だと思った。（経営学部　経営システム科学科　2年）

今回の講義では、自分の夢を広げるために損得を考えることは良くないということを聞き、私の今までの考えがくつがえりました。企業をする上で、利益を考えてしまいますが、それよりも夢を広げるために気合と根性、勘と度胸が一番必要であると学んだので、これからは夢を実現するためには何が必要であるのかをしっかり考えていきたいと思います。（経済学部　経済学科　1年）

ベンチャーキャピタルについて学ぶことはベンチャー、起業家について学ぶことに深くつながりがあることが分かったので、ベンチャーキャピタルについてより詳しく調べたいと思います。また、様々なビジネスプランを見ていろいろな経営法やビジネスの考え方を自分なりに理解して、経営やベンチャーに対する理解を深めたいと思います。（経営学部　経営学科　1年）

**授業スタッフの感想**

本日の呉氏の講演は、内容が非常に充実しており、聞き入ってしまいました。後半のお話が聞けなかったのが残念です。他の人の感想にもありましたが、「10回挑戦すれば1回は成功する」というお話が特に印象に残りました。自分の信念に関わるものに関しては、諦めない粘り強さが重要なのだと思いました。分野にこだわらず、幅広い視点で物事を見ることが自分のためにも、進路選択にもいいということが分かりました。次回は、今後の日本の農業、そして農家のあり方に関するお話が聞けると思うので、非常に楽しみです。

今回お話を聞けてベンチャー企業とそうでない企業の違いが分かりました。いままでその業界の人が思いつかないような考え方をできないといけないと思いました。私もですが、「人は10回挑戦すれば1回は成功する、ただ多くの人は3回ほど失敗したところで挑戦をやめてしまう。」という言葉が印象に残った人が多かったように感じました。成功するまでいかに挑戦し続けることができるかが大事なのだと分かりました。失敗してもチャレンジし続ける気合と根性を身に着けたいと思います。